

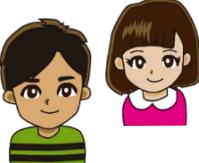
「発達の段階一覧表」を踏まえた

	内容項目の理解	実態把握	教材の活用
指導観	多面的・多角的な見方や客観的に物事を考えることができる発達の段階や中学校での道徳科の学習（生命倫理等の問題）を踏まえ、生命の尊厳を考えることを通して、生命の尊さについての理解を深めさせたい。	日常の中で命のありがたさを感じる児童が少ない。安楽死や尊厳死について多面的に思考させ、生命の尊さやかけがえのなさを実感させたい。	教材は「命の重さはみな同じ」を活用する。多面的・多角的な見方で物事を考えることができる発達の段階を踏まえ、安楽死を提案する獣医の立場と命を絶対に救いたいと願う人のそれぞれの立場から命について考えさせたい。

ねらい 子犬の命について真剣に考え、話し合う甲斐さんと獣医さんの思いについて考えることを通して、生命に対する多様な考えを持ち、そのかけがえのなさを強く自覚して、生命を尊重しようとする道徳的心情を育てる。

手立て 甲斐さんと獣医さんが互いに子犬の命を尊いものとして真剣に考えていることを理解させるために、甲斐さんと獣医さんの思いを視覚的に捉えることができるように板書をする。

指導の手立ての具体（想定した児童生徒の反応から目指す姿までの過程）



発問
甲斐さんと獣医さんは、どのような思いで子犬の命を考えていますか。



獣医さん

命の重さを感じたこと

- ・ 足がな
- ・ 切断し
- ・ 自分も
- ・ 気持ちは

分けたい。

子犬の命を救うか
どうかを話し合う
様子の挿絵

甲斐さん

- ・ 動物も
- ・ 命を簡
- ・ 命をつ
- ・ 生かして

あげたい。

命の重さを強く実感した
児童の考え

- ・ どちらも気持ちは同じ。
- ・ 子犬を思うからこそ。
- ・ 命の重さは同じ。
- ・ 簡単になくなってよい命はない。

命の重さは動物も人間も重い。本当に重く大切。

子犬がいたらあんなに助けてあげたい。けど・・・

発問
それぞれの立場を理解した上で、あなたはどのように考えますか。

第6学年道徳科学習指導案

指導月日 令和〇年〇月〇日

授業者 〇〇 〇〇

- 1 主題名 生命の尊厳「D-(19) 生命の尊さ」
教材名 「命の重さはみな同じ」（東京書籍 新しい道徳6）

2 指導観

(1) 内容項目の理解

本主題は、小学校学習指導要領（平成29年告示）の次の内容を受けて設定されたものである。

第3章 特別の教科 道徳 第2 内容 「生命の尊さ」

〔第5学年及び第6学年〕

生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。

高学年の指導では、個々の生命が互いを尊重し、つながりの中にあるすばらしさを考え、生命のかけがえのなさについて理解を深めるとともに、生死や生き方に関わる生命の尊厳など、生命に対する畏敬の念を育てることが大切である。5学年までに児童は、生命の連続性、生命を守り抜くことの大切さや生きることの意義についての価値理解を深めている。本主題では、多面的・多角的な見方や客観的に物事を考えることができる発達段階や中学校で生命倫理の問題を学習していくことを踏まえ、生命の尊厳について考えることを通して生命の尊さについての理解を深めさせたい。

(2) 実態把握

この時期は、客観的な思考が育つとともに、行為の動機と結果の両面を意識して物事を判断する等、多面的・多角的な視点で物事を考えることができる発達段階である。また、自律的な態度が発達し、自分の行為を自分の判断で決定しようとするようになる。

本学級の児童の多くは、自分が生きていることは当然のことと捉え、日常生活の中で生きている喜びや命があることのありがたさを強く実感することが少ないように感じる。一方で、様々な事情から、生命の尊さや有限性を強く実感している児童もいる。本主題では、生活経験の違いから、命の重さを強く実感している児童とそうではない児童がいることを踏まえ、児童の経験に十分に配慮して生命にかかわる問題を扱う。その上で、命の重さを感じた経験を話し合うことを通して、生命の尊さやかけがえのなさ等を児童に実感させたい。

(3) 教材の活用

本教材は、動物の命をつないでいきたいという立場（生命の連続性）と救うことの難しさを考える立場（生命の有限性）の双方の立場から子犬の命に向き合うことで、生命の尊厳について考えることができる教材である。本時では、安楽死を提案する立場と命を絶対に救いたいと願うそれぞれの立場から命の重さを考えさせる。そして、どちらの立場も間違いではないことに気付かせ、人間や動物等の命の重さについて考えることの大切さを、児童に強く実感させたい。

3 本時の指導

(1) ねらい

子犬の命について真剣に考え、話し合う甲斐さんと獣医さんの思いについて考えることを通して、生命に対する多様な考えを持ち、そのかけがえのなさを強く自覚して、生命を尊重しようとする道徳的心情を育てる。

(2) 手立て<板書の工夫>

甲斐さんと獣医さんが互いに子犬の命を尊いものとして真剣に考えていることを理解させるために、甲斐さんと獣医さんの思いを視覚的に捉えることができるように板書をする。

(3) 指導過程 (別ページ)

(4) 評価

<児童の評価>

○子犬の命を救うべきかを話し合うことを通して、命を救うことの難しさを強く感じたり、何としても命を助きたい思いに共感したりすることができたか。(多面的・多角的)

○命の重さをテーマに話し合うことを通して、動物の生死について深く考え、生命のかけがえのなさに対する自分なりの思いや考えを持つことができたか。(自分との関わり)

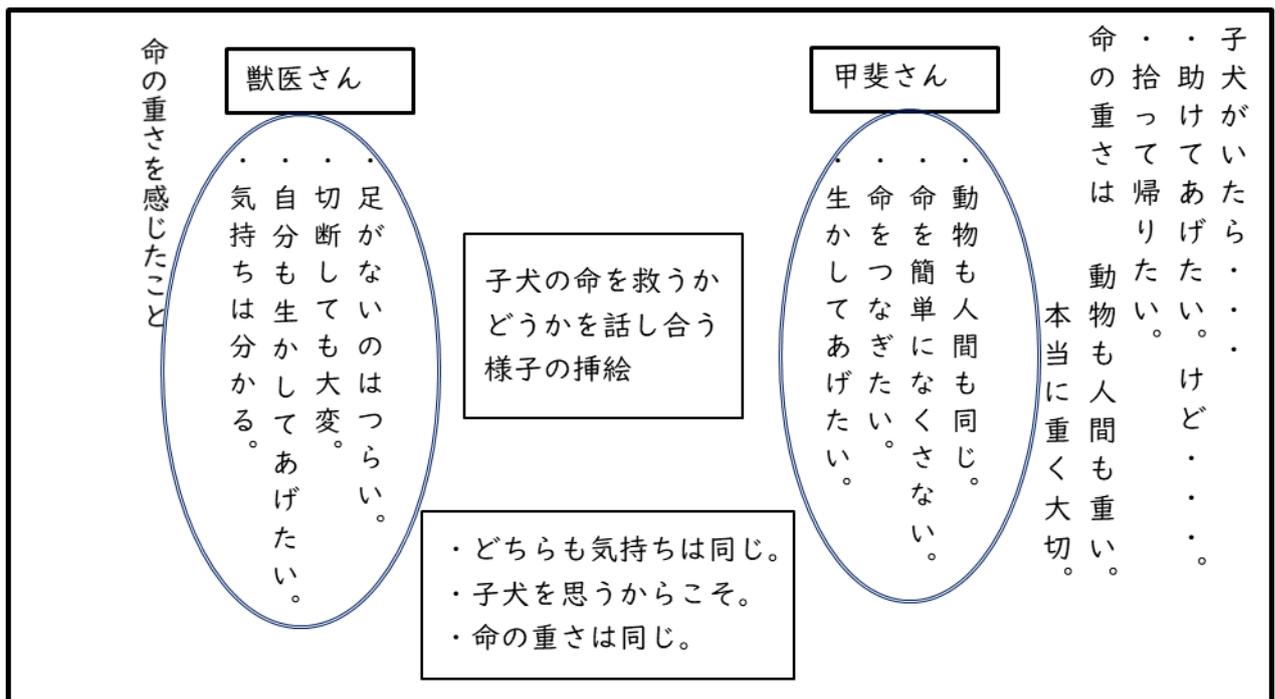
<指導方法の工夫に対する教師の評価>

○客観的な思考が育つとともに、行為の動機と結果の両面を意識して物事を判断する等、多面的・多角的な見方で物事を考えることができる発達の段階であることを踏まえて構成した発問や板書の工夫は妥当であったか。

(5) 準備物

教師：教科書，ワークシート，提示絵

(6) 板書計画

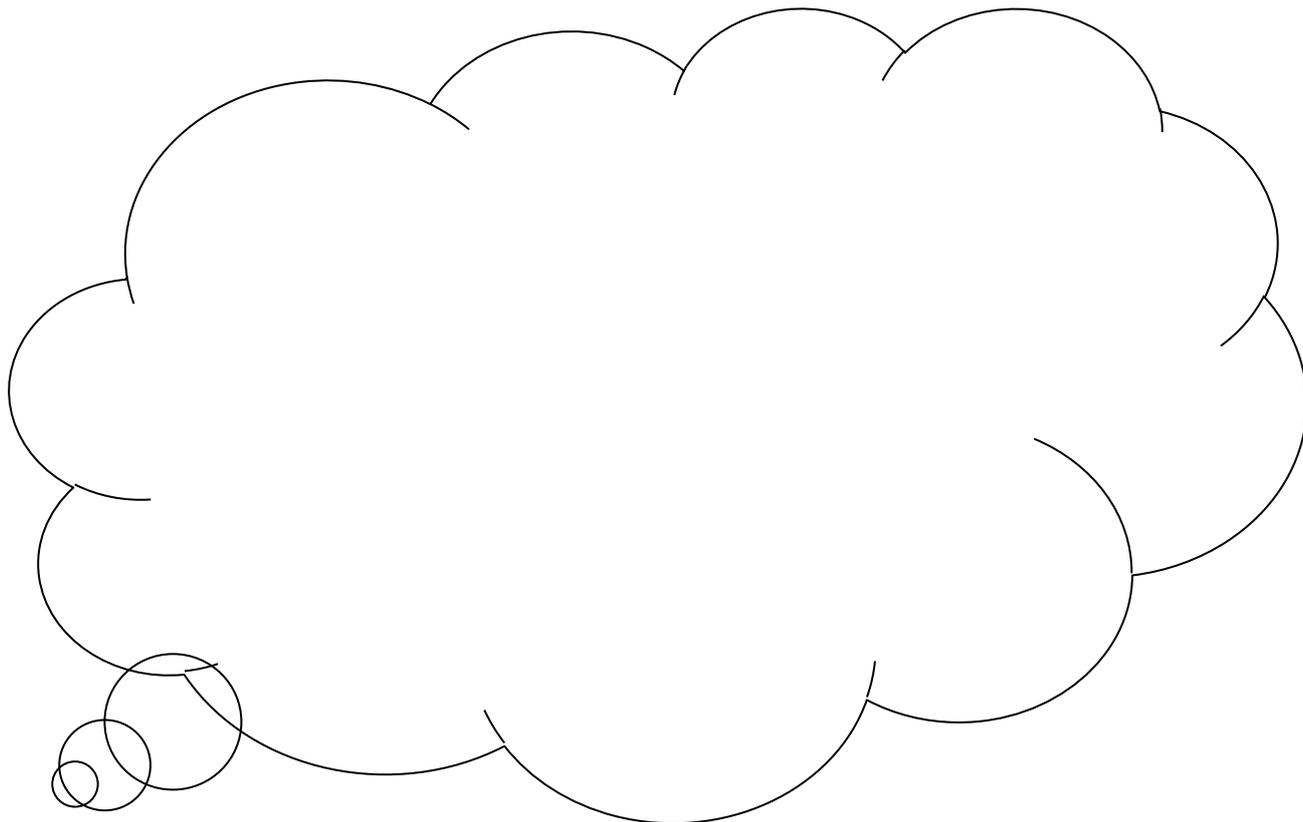


指導過程

段階	学習活動 ○基本発問 ◎中心発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ○評価 【 】評価方法
導入 5分	<p>1 主題に関わる問題意識を持つ。</p> <p>○捨てられた子犬を見つけたら、あなたはどうしますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち帰ってあげたい。 ・たまにえさをあげに行く。 ・飼いたいことを家族に言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材と同様の場面を設定して発問し、命を助けることの難しさを自分との関わりで考えさせる。
<p>「命の重さ」について考えよう。</p>			
展開 30分	<p>2 教材を読み、生命の尊さについて考える。</p> <p>◎甲斐さんと獣医さんは、どのような思いで子犬の命を考えていますか。</p> <p>○それぞれの立場を理解した上で、あなたはどのように考えますか。</p>	<p><甲斐さんの立場から></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きていけばきっといいことがあるはず。 ・人間も動物も命の重さは同じ。 ・私は命を見捨ててはおけない。 ・生きる可能性がある動物の命を人間の手で奪いたくはない。 <p><獣医さんの立場から></p> <ul style="list-style-type: none"> ・足がない状態で生きることは幸せなのか。 ・私もつらいが、子犬はもっとつらいのではないだろうか。 ・大変な手術をしても助からない可能性もある。ならば・・・。 <p>・獣医さんの気持ちも分かるな。足がない状態はつらい。</p> <p>・動物だから、と簡単に安楽死させることも違う。</p> <p>・一番悩んでいるのは獣医さんかもしれない。</p> <p>・でも、やっぱり私だったら助けたいと思う。生きていればいいことがあるかも。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの立場の思いを考えることで、以下のような考えを引き出す。 ①「安楽死も仕方ない」という客観的な視点からの考え。(有限性) ②尊い命を人の手によって終えることはできないという思い。(畏敬の念) ③足を失った子犬が生きていくことが幸せなのかという葛藤。(生きる意義) <p><手立ての具体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>甲斐さんと獣医さんの思いを視覚的に捉えることができるように板書をずる。</u> ○多面的・多角的 【発言、ワークシート】 ・二つの考えを十分に引き出した上で問い掛ける。 ・命を選択することの難しさを強く実感させる。 ○自分との関わり 【発言、ワークシート】
終末 10分	<p>3 道徳的価値に対する思いや考えをまとめる。</p> <p>○命の重さを感じたことはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の虐待のニュースなどを見ると悲しくなる。 ・自分の弟が生まれて、けんかすることも多いけど、かわいい。 ・災害から助かった人のニュース等を見たとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・命の重さや尊さについてじっくりと考えたことを踏まえ、命の重さについて自分なりの視点で考えたことを振り返らせる。

命の重さはみな同じ

命の重さは・・・と感じたり，考えたりしたこと。



あなたにとって今日の道徳は・・・

スッキリ・なるほど！

モヤモヤ・悩んだ・・・。